

ユネスコスクール「ライスプロジェクト」に基づいた タイ王国と日本の国際交流の実践

島野智之*・パトンポン＝スパラート**

Practice between Japan and Thailand of International Collaboration Based on “Rice Project”
of Asian UNESCO Associated Schools

Satoshi SHIMANO and Pathompong Supalert

要旨：2013年ユネスコスクール「ライスプロジェクト」に基づいた国際交流の実践をおこなった。2013年7月4日、宮城県の大崎市立大貫小学校、大崎市立沼部小学校(いずれもユネスコスクール)と、タイ王国アユタヤのジラサート・スクール (Jirasartwitthaya school: ユネスコスクール) の間で、インターネット会議を用いた交流が行われた。また、2013年7月5日、同大貫小学校、大崎市立沼部小学校と、タイ王国トランのプリンセス・チュラポーン高校 (ユネスコスクール申請中) の間でも、インターネット会議を用いた交流が行われた。これらの国際交流は、宮城教育大学 (ユネスコスクール) の学生によって、実践計画がなされ、小学校に足を運んだ準備だけではなく、タイ王国の現地での翻訳などのサポートも行った。現地では、Athapol Anunthavorasakul 教授 (ESDI center, Faculty of Education, Chulalongkorn University) とそのチームのサポートを受けた。この交流は、2012年1月より、タイ王国の関連学校と、大崎市教育委員会、NPO 沼っくらぶ、宮城教育大学による調査、関係者との事前検討などを準備し、また、2013年4月から大貫小学校、沼部小学校の事前授業などを経て、実践されたものである。

キーワード：ユネスコスクール、稲作文化、ライスプロジェクト、タイ王国、日本、国際交流

1. はじめに

日本において、我々がユネスコスクールとよぶユネスコ本部に認可を受けた学校は、英語圏では一般的に ASP school とよばれている。ユネスコスクールは、1953年、ASPnet (Associated Schools Project Network) として、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するため、国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体として発足した。2013年には60周年を迎える。世界180カ国で約9,000校がASPnetに加盟して活動している (ACCU, 2009)。

ESD Rice プロジェクト (“Regional Initiative for

Cooperation for ESD Promotion Through Rice” 「お米を通じた ESD 推進・協力 地域イニシアティブ」) は、ESD の共同学習、コラボレーション、ネットワークづくりのためのプロジェクトで、アジア太平洋地域の学校とコミュニティが「お米」をテーマにするもので、このプロジェクトの目的は、ESD の更なる推進・質の向上と、持続発展を目指し、共に学び続けるアジア太平洋地域ネットワークの基盤をつくることである (ACCU, 2012)。

2. 準備

2012年1月より、タイ王国の関連学校と、大崎市

* 宮城教育大学環境教育実践研究センター、** School Manager, Jirasartwitthaya school, Chigoon Rd, Ayutthaya, 13000 THAILAND

教育委員会、NPO 沼っこくらぶ、宮城教育大学による調査、関係者との事前検討などを準すすめた（島野、2013）。2013 年 4 月から大貫小学校、沼部小学校の事前授業などを行った。一方、タイ王国アユタヤのジラサート・スクールも、過去 3 年間の ESD への計画的取り組みの中で、アユタヤ地域の産業として、最も重要なもののひとつである稲作に関するプロジェクトとして取り組んできた。タイ王国トランのプリンセス・チュラポー高校は、国内有数の進学校として、科学教育に取り組むばかりではなく、国連大学認定 RCE（Regional Center of Expertize for ESD）として ESD を視野に入れてきた。

3. 実践

2013 年 7 月 4 日、宮城県の大崎市立大貫小学校、大崎市立沼部小学校（いずれもユネスコスクール）と、タイ王国アユタヤのジラサート・スクール（Jirasartwitthaya school：ユネスコスクール）の間で、インターネット会議を用いた交流が行われた。また、2013 年 7 月 5 日、同大貫小学校、大崎市立沼部小学校と、タイ王国トランのプリンセス・チュラポー高校（ユネスコスクール申請中）の間でも、インターネット会議を用いた交流が行われた。交流の詳細については、別の機会にゆずり、ここでは、時系列に基づいた実践報告のみを行いたい。

- ・ 2012 年 1 月 タイ王国から教員を宮城教育大学へ招聘
- ・ 2012 年 5 月 大崎市教育委員会、NPO 沼っこくらぶ戸島潤理事長（大崎市）、宮城教育大学（島野）タイ王国調査、関係者と事前検討交流が始まる。お互いの季節や、農業管理などについてメッセージを送り合う。
- ・ 2013 年 1 月 宮城教育大学（島野）アユタヤ県のジラサート・スクールで、事前検討。アユタヤ県庁関係者、農業試験場などで、地域の稲作を調査。タイ王国教育省、チュラロンコン大学との打ち合わせ。
- ・ 2013 年 2 月 沼部小学校・大貫小学校児童のメッセージを持って、戸島潤理事長がジラサート・スクールで授業。

- ・ 2013 年 4 月 沼部小学校・大貫小学校での、タイ王国と日本の文化の違い、稲作形態の違いについての授業が始まる。
- ・ 2013 年 5 月 宮城教育大学学生チーム準備開始（授業「フィールドワーク実験」履修者）
- ・ 2013 年 5 月 沼部小学校・大貫小学校地域での稲作宿泊体験、生物多様性調査実習
- ・ 2013 年 6 月 沼部小学校・大貫小学校での宮城教育大学学生による事前授業（顔の見える交流*を目指す）（タイ米を持参、交流直前に調理）沼部小学校・大貫小学校の本格準備。
- ・ 2013 年 7 月 2 日 宮城教育大学学生チームが、タイ王国に渡航。バンコクに宿泊。
- ・ 2013 年 7 月 3 日 アユタヤ県に移動。ジラサート・スクールで、タイ王国の米と日本の米、気候文化に関する事前授業（日本の米を炊いて一緒に食べる）。アユタヤの日本人街跡地を訪れ、600 年前からの日本とタイ王国の文化の交流について学ぶ。
- ・ 2013 年 7 月 4 日 ジラサート・スクール（それぞれ 1 クラス、合計 2 クラス）と沼部小学校・大貫小学校それぞれ 1 クラスのスカイプ（インターネット会議）による交流（それぞれ 1 時間）
- ・ 2013 年 7 月 5 日 早朝、宮城教育大学学生チーム、トラン県に移動。トラン県のプリンセス・チュラポー高校と、事前授業。（日本の米を炊いて一緒に食べる）大貫小学校と、スカイプを使った交流。
- ・ 2013 年 7 月 6 日 -8 日 宮城教育大学学生チームは、100 年前、タイ王国南部を貧困から救ったゴム畑やパームヤシ畑とその工場を見学し、これまで教科書でしか知らなかった、東南アジアの経済について、ESD の観点から学ぶ。帰国。

4. 終わりに

お互いの国の児童・生徒は、大いに興味を持って交流をしたようだ。他の国との交流によって、自国の文化を見直すことに繋がったのは、児童・生徒だけではなく、教員も同様であったようだ。

また、宮城教育大学から、タイ王国に渡航しサポートした大学生 10 名は、日本のお米と、タイのお米の違いを、タイの子供達に知って貰おうと、2 ヶ月まえ

から入念に準備を重ねた。最初は、英語を全く話せなかった学生たちも、英語の授業を自分たちで作り、練習を毎日重ねることで、次第に英語が自然に口から出てくるようになり、タイと大崎市のビデオ会議では、通訳を務めるなど、その成長ぶりは目を見張るものがあった。

ここで報告した実践は一事例にしかすぎない。今後、どのようにして、国際交流としていくかについては、お互いの学校現場の理解と情報共有によるものではないかと考えている。

稲作文化にもとづいた ESD の更なる推進・質の向上という目標について、お互いの国の ESD の方向性など、さらに話し合うべきことは多い。今後、児童・生徒が国際感覚を身につけながら、自国の分野や歴史、産業について誇りを持っていけるよう学校が実践を行えるように、調査・研究を続けたいと考えている。

謝辞

この国際交流は、宮城県大崎市では、NPO 沼っこくらぶ、戸島潤理事長が、学校への出前授業などで、大いに協力をいただいたこと、タイ王国、アユタヤでは、Athapol Anunthavorasakul 教授 (ESDI center, Faculty of Education, Chulalongkorn University) とそのチーム、及びタイ王国、トランでの Dr. Vit Leelawat (The Consultant to the Mayor of Trang City Municipality, Wattanapat Hospital Trang) とそのチーム

のサポート、そして、Dr. Mario T. Tabucanon, (D.Eng. Emeritus Professor, Asian Institute of Technology (AIT), Thailand Visiting Professor, United Nations University Institute of Advanced Studies (UNU-IAS), Yokohama, Japan) の支援とタイ王国の ESD に関する情報提供によっている。ここに深く感謝を申しあげたい。

引用文献

ACCU, 2009. ユネスコスクールとは. *In*: ユネスコスクール・ホームページ http://www.unesco-school.jp/?page_id=34

ACCU, 2012. ESD Rice, Regional Initiative for Cooperation for ESD Promotion Through Rice, Pilot Project 2012:Project Guide, Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO, Tokyo.
http://www.esdriceproject.com/RICE_e_all.pdf

島野智之, 2013. 米と稲作を題材にしたタイと日本のユネスコスクールの交流のための予備的調査から得られた農学的観点からの情報. 環境教育研究紀要, 15, 65-68. (Shimano, S. 2013. Preliminary study of exchange materials in agriculture for to build a network between Japan and Thailand in which to work together for a sustainable future for the UN Decade of ESD, Res. Bull. Environ. Educ. Center, Miyagi Univ. Educ. 15, 65-68 (in Japanese).)